

あ お も り 町村 自治

2026 **10** No.1252

令和8年

年4回発行

編集・発行 青森県町村会

〒030-0801 青森市新町二丁目4番1号 TEL. 017-723-1331 FAX. 017-723-1347

HP <https://www.aomori-chousonkai.jp/>

【特集】「新郷村」	2
定期総会	4
知事と市町村長との協議の場（町村の部）	6
いまが旬！	12
エッセイ 中泊町長 濱舘 豊光 氏	16



世界に轟く文化財に 宮越家「春景花鳥図」

なかどまりまち
中泊町

中泊町の旧家、宮越家にある離れに長年保存されていたふすま絵「春景花鳥図」。

近年この作品が、イギリスの大英博物館に所蔵されるふすま絵と一連の作品であることが判明しました。

今年の7月から来年1月まで東京都美術館と大阪中之島美術館で開催中の企画展で、関連する2つの作品が展示され、約150年ぶりに再会を果たしています。



新郷村地域おこし協力隊の畠山さん（左）と清水さん（右）

新郷村が廃校で挑む 住民と芸術の出会い

廃校となった校舎を舞台に、地域住民とアーティスト、学生たちがつくる「シンゴウムラアートプロジェクト」。昨年の初開催に続き、今年も西越地区で開催されます。



今年のキュレーターを務める八工大の皆川准教授（写真・左）

廃校に再び灯りをともす

三戸郡新郷村・西越（さいごし）地区にある、閉校した旧西越小学校。この校舎を再び活気ある場所に、と活動してきたのが村地域おこし協力隊の清水香帆さんです。

愛知県出身の清水さんは、村に来て3年目。旧学区の住民組織・西越地域振興会と意見交換会や集客イベントを重ねてきました。そして昨年実現したのが「シンゴウムラアートプロジェクト2025」。キュレーターを務めた八戸工業大学感性デザイン学部4年（当時）・小比類巻侑生さんの提案でスタートし、運営ボランティアも学生らが担いました。旧校舎を舞台にさまざまなアート作品を展示。テーマの「RPG」になぞらえた「ムラ歩き」やアートレクチャーなども行われました。

9月の週末を中心に約1カ月開催し、450人以上が来場。最終日には地元の郷土芸能が披露されました。今夏は、高齢化などの理由で休止していた「西越三嶽神社大祭行列」が9年ぶりに復活するなど、さまざまな形で交流が広がっています。



教室での展示の様子 (2025)



新郷中学校の生徒も参加 (2025)



アーティストが村に滞在して制作 (2025)



今年の交流スペースイメージ



郷土芸能のひとつ「間明田駒踊り」



2026年のPRチラシ

柔軟性が新郷村の魅力

廃校活用は多くの自治体の課題でありながら、人材や予算、安全面などの障壁があります。そんな中で同プロジェクトは、村と地域住民、芸術分野の大学や県内外のアーティストを巻き込み、地域おこしプロジェクトとして成果を残しました。

清水さんは、「新郷村役場のいいところは、ノーと言わないこと。もともとキリストの墓やピラミッドにまつわる伝説がある村ですから」と笑顔。企画を持ち込めば、きちんと話を聞いてくれる。新郷村の役場には課を越えた職員同士の繋がりがあ。その柔軟な土壌があったからこそ、初めての試みも受け入れられたと清水さんは感じています。

アートプロジェクト2026

今年は新たに協力隊の畠山温光さんが加わり、グラウンドでの交流スペースなども新設予定です。テーマは「それでも、世界をアイで満たすために」。キュレーターの八戸工業大学・皆川俊平教授は「県外の山間集落で『何も無い』ことに気付くま

で30年かかった」という言葉を聞いたことがあり、



地元企業も資材などを提供

り、「新郷村でのアートプロジェクトは新しいことを始めるように思われるかもしれませんが。ですがそのまったく逆で、当たり前すぎて『何も無い』と感じてしまう『豊かな日常』を繋げていくもの」とコメントを寄せています。幾度となく新郷村へ通っている参加アーティストのひとり、森健太郎さんは、西越三嶽神社大祭に魅せられ「祭りもアートも、人が集まり、次へつないでいく営みなのかもしれません。このイベントが、いつか村の一部になれば」と期待しています。

豊かな日常と人のつながり、旧校舎が賑やかになるアートプロジェクト。今年は、むつ小川原地域・産業振興財団の支援を受けて10月31日(土)～11月29日(日)の土日祝日に開催されます。

お問い合わせ

新郷村企画商工観光課

TEL 0178-7812111

本会定期総会を開催



令和7年度決算等を審議した定期総会

本会は9月2日、野辺地町の亀の井ホテル青森まかで第2回定期総会を開催した。令和7年度本会会務報告、収入支出決算などを原案どおり承認、決定した。定期総会には町村長28人が出席した。

総会の冒頭に濱館会長からあいさつがあり、最近の活動が報告された。報告では、重点施策提案に係る国会議員との意見交換会や、自民党本部や関係各省庁に対し行った重点施策提案活動、北海道東北六県町村会協議会として各道県の町村会長とともに総務省、復興庁等へ要請活動を行った

ことなどに言及し、「今後とも直面する様々な課題の解決に向け、本県町村の声を全国に届けていく。より一層のご支援・ご協力をお願いする」と述べた。

引き続き、濱館会長が議長となつて議事に入った。令和7年度の会務報告や収支決算など議案4件を審議し、それぞれ原案どおり承認、決定した。



あいさつする濱館会長

また、総会終了後には、むつ小川原地域・産業振興財団から「むつ財団の概要」について、県財務部市町村課の平尾課長から「ふるさと住民登録制度のシステム構築」について、そ

れぞれ説明があった。
総会議事の概要は次のとおり。

○議案第1号 令和7年度青森県町村会会務報告

①急激な人口減少・少子高齢化や若者の人口流出、自然災害の頻発・激甚化や物価高騰などにより町村を取り巻く環境が厳しさを増す中、地方創生の推進や町村財政基盤の確立など、町村が抱える諸課題の解決に向けて、県、全国町村会及び関係団体との緊密な連携のうえ、積極的に実施した。

②提言・要望に関して、県、市長会と合同で令和8年度重点施策提案について国会議員に説明し、総務省など関係省庁等へ提案書を提出した。また、知事と市町村長との協議の場において県政に対する提言書を提出した。さらに、市長会と合同でツキノワグマの被害防止対策等への支援強化等に関する要望、県、市長会と合同で令和7年特別交付税及び道路除排雪経費の確保に関する要望を行った。

③政務調査委員会に関して、町村財政の安定等のための負

担金等委員会は、法令外43団体の負担金、寄付金等を協議・決定した。

④町村の魅力発信事業の助成に関して、本県町村の魅力をより一層高め全国に発信する必要があることから、(公財)青森県市町村振興協会の助成を受け、町村が実施する事業に対し助成金を交付し支援した。

⑤30町村の魅力を継続的に県民に周知するため、県内地元3紙に各町村の魅力を広く伝える特集紙面「Discover MY Aomori 30町村にいらひしゃいませ。」を掲載した。また、県内町村へのインターンシップを促進し、県内町村の保健師人材の確保を図るため、青森県内町村保健師インターンシップ促進支援事業を実施した。

⑥町村長の健康管理の一環として、例年どおり総合健診を実施したほか、脳ドック検診を受診した町村長に対して助成金を交付する町村長脳ドック助成制度を実施した。

⑦本会事業運営の基盤である各種共済事業の推進や、自治功労者表彰の実施、各種研修、

町村職員採用試験、広報活動などを事業計画に基づいて実施したほか、本会に事務局を置く各団体も含めて、積極的な協力・協調体制で事業を実施した。(事項別概要略)

○議案第2号 令和7年度一般会計決算の概要は、収入済総額2億4329万7984円、支出済総額2億2141万5407円で、差引き2188万2577円の残額を生じ、このうち財政調整基金規程第2条の定めるところにより、1100万円を基金へ繰り入れ、残額1088万2577円を翌年度へ繰り越すものである。

○議案第3号 令和7年度特別会計決算の概要は、収入済総額5061万5446円、支出済総額4768万802円であり、法人税等70万300円を納付した結果、差引利益223万4344円により純資産318万4973円となり、一般会計に211万8000円を繰り出すものである。

○議案第4号 令和8年度青森県町村会一般会計補正予算(補正第一号)案の概要は、

令和7年度決算に基づく繰越金が当初予算を下回ったこと、特別会計から繰り出せる純資産により不足分を賄えることから、収入予算の区分を補正するものである。

定期総会 提案事項等 を決定

第2回理事会を開催

本会は定期総会に先立つ7月28日、青森市のアップルパレス青森で第2回理事会を開催した。出席者は、濱館会長をはじめ役員町村長10人。

理事会では、令和7年度本会会務報告、一般会計収支決算の認定など議案4件の審議と、本会定期総会に併せて県主催で実施する知事と市町村長との協議の場での本会からの意見交換テーマなどの協議事項2件をそれぞれ原案どおり承認、決定した。会務報告

及び収支決算等は、定期総会に提案することとした。

議案

○議案第1号 令和7年度青森県町村会会務報告について同意を求めるの件

○議案第2号 令和7年度青森県町村会一般会計収入支出決算について同意を求めるの件

○議案第3号 令和7年度青森県町村会公有物件共済事業等特別会計収入支出決算について同意を求めるの件

○議案第4号 令和8年度青森県町村会一般会計補正予算(補正第一号)案



協議事項

○協議事項1 令和8年度知事と市町村長との協議の場(町村の部)について

○協議事項2 令和8年度県政に対する提言について

7年度の 決算を認定

生協支部委員会

全国町村職員生活協同組合県支部は、本会理事会終了後、第2回委員会を開催した。

委員会では、同支部の令和7年度収支決算など議案2件を審議し、原案どおり承認、決定した。

議案

○議案第1号 令和7年度全国町村職員生活協同組合青森県支部会計収入支出決算について認定を求めるの件

○議案第2号 令和8年度全国町村職員生活協同組合青森県支部会計補正予算(補正第一号)案

人口減少対策への共通理解を図る

知事と市町村長との協議の場



9月2日、本会定期総会【4ページ】に引き続き、県主催で「知事と市町村長との協議の場（町村の部）」が開催された。本会の出席者は濱館会長はじめ28人。

冒頭に本会の濱館会長が宮下知事に対し11項目にわたる県政への提言書を手交した。引き続き意見交換では、「人口減少対策」をテーマに、活発な議論が行われた。

■人口減少対策について

はじめに、濱館会長が人口減少対策をテーマとした理由を説明した。人口減少はもはや一つの政策分野の課題ではなく、あらゆる行政課題の根底にある共通課題であり、町村だけでなく県、国として向き合うべき課題であるとした



宮下知事に提言書を手交する濱館会長

上で、「人口を増やす努力」と「人口減少社会への適応」を両輪として進めていく必要があると述べた。

今回は、県が既に進めている施策を、町村の住民が実際に成果として実感できるように、さらに実装を深め、県と町村が共同で取り組める仕組みを充実させるという考え方に立ち、「働く場づくりと若者・女性の定着」、「出会い・子育て支援」、「地域医療」、「学び」、「行政基盤」の5つのテーマから町村の課題と今後の方向性を説明した。

■意見交換

町村長からは、高校進学を機に子どもだけでなく親世代も町村外へ転出するケースが

あることから、高校への通学手段となる地域公共交通の充実などを求める意見が述べられた。これに対し宮下知事は、長時間の通学は生徒の負担が大きいため、学生寮の整備も必要ではないかという考えを述べた。

その他に町村長からは、出会い・子育て支援について若者だけでなく親世代への周知を図ることや、出会いの機会の創出などについて意見が述べられた。さらに、人口減少が進む中、今後は一つの自治体だけで行政サービスを維持することが難しくなっていくことから、広域連携や、自治体DX推進への取り組みについて意見交換が行われた。

【令和8年度県政に対する提言項目】

- 1 町村財政基盤の充実強化について
- 2 デジタル化施策の推進について
- 3 町村の専門人材の確保について
- 4 地方創生・人口減少対策に向けた支援について
- 5 医療・保健・福祉・こども・子育て施策の推進について
- 6 持続可能な地域公共交通の確保・維持について
- 7 原子力施設の安全対策及びエネルギー政策について
- 8 農林水産業の振興について
- 9 社会基盤の整備促進等について
- 10 外国人の土地売買を制限する対策等の検討について
- 11 教育施策等の推進について

関係省庁等に

重点施策提案活動

本会は、県、市長会の3団体合同により7月7日、東京都内、自由民主党をはじめ内閣府・内閣官房、こども家庭庁、総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省に対し、令和9年度の重点施策提案を行った。

強く訴え施策の実現を求めた。また、内閣府では濱舘会長が「少子化対策は国家的課題であり、国の制度として子育てしやすい環境づくりを強力に推進していただきたい」と述べ、津島副大臣からは「少子化対策、子育て施策は社会減の要因を一つ一つつぶしていく、県と一緒にしっかり取り組みたい」という発言があった。



津島内閣府副大臣（右から3人目）



福田文部科学大臣政務官（中央左）

広域連携と自治体DXで講演

市町村自治研修会を開催

本会は青森県市長会との共同により、7月28日、青森市のアップルパレス青森で、令和8年度市町村自治研修会を開催した。

第1部では、総務省自治行政局市町村課課長補佐の西畑宏治氏が「広域連携について」と題して講演した。

西畑氏は、人口減少が想定を上回る速さで進む中、持続的な行政サービスを確保する



講師を務めた総務省自治行政局市町村課の西畑課長補佐

ため、広域連携が重要な方策の一つになると説明した。また、これからの広域連携は、「地域の未来予測」を、圏域（複数市町村）で実施すること、都道府県や中心市などが対話を促す役割を担いながら、参加する各自自治体が当事者意識を持つて参画することが、広域連携の実践、深化の鍵となると説明した。

第2部では、総務省地域情報化アドバイザーで埼玉県町村会情報システム共同化推進室長の本山政志氏が、「2024年を見据えた自治体DX推進の必要性と機運醸成」と題して講演した。本山氏は、自治体DXはすべての部門と職員に関わる取組であり、デジタル技術やデータを活用して行政サービスと行政経営の



講師を務めた総務省地域情報化アドバイザーの本山氏

あり方を変革していくものであると説明した。

また、2024年に向けて福祉需要の増加や自治体職員の減少が見込まれる中、デジタルを活用した業務改革とともに、地域全体で課題を支え合う「地域共生社会」の実現を目指すことが重要であると述べた。さらに、埼玉県町村会における情報システム共同化の取組を紹介し、自治体DXの本質は技術の導入ではなく、人材や組織の意識改革にあるとした上で、自治体間の連携や民間の力も活用しながら、それぞれの自治体が主体的に改革を進めることの重要性について説明した。



町村長選挙結果

今別町長

阿部 義治氏



任期満了に伴う今別町長選挙は、7月12日、投票票が行われ、現職の阿部義治氏(76)が3選を果たしました。
〈略歴〉町副町長、町助役

大鰐町長

山田 年伸氏



任期満了に伴う大鰐町長選挙は、7月12日、投票票が行われ、現職の山田年伸氏(74)が5選を果たしました。
〈略歴〉町議会議員

鶴田町長

相川 正光氏



任期満了に伴う鶴田町長選挙は、8月2日、投票票が行われ、現職の相川正光氏(72)が4選を果たしました。
〈略歴〉県議会副議長、町収入役

青森県町村長等名簿

令和8年10月1日現在
町村数30町村(22町8村)

区 分		町 村 長 氏 名	生年月日	当選回数	任期満了年月日	副町村長氏名
東郡	平内町	船橋茂久	S24. 7.17	4	R 9.11.14	山田光昭
	今別町	阿部義治	S25. 9.18	3	R12. 7.23	
	外ヶ浜町	山崎結子	S56. 6.21	3	R11. 4.23	登坂光春
	蓬田村	八戸慎幸	S49. 3. 8	1	R11.11. 8	
西郡	鰺ヶ沢町	平田衛	S34.11. 1	3	R11.12.26	加藤隆之
	深浦町	平沢一臣	S49. 9.21	1	R10.12.20	佐藤洋一
中郡	西目屋村	桑田豊昭	S32. 1.11	2	R11. 2.20	
南郡	藤崎町	棚内伸治	S49. 1.29	1	R12. 4.11	三上孝之
	大鰐町	山田年伸	S27. 3.11	5	R12. 7.21	
	田舎館村	品川新一	S27. 2.21	1	R10.11.17	金枝尚明
北郡	板柳町	葛西健人	S34. 7.18	1	R 9. 4.29	長内伸夫
	鶴田町	相川正光	S28.10.29	4	R12. 8.20	八木橋成人
	中泊町	濱館豊光	S34.10. 3	3	R11. 4.23	三上晃瑠
上北郡	野辺地町	野村秀雄	S38. 4.15	2	R 9.10.26	江刺家和夫
	七戸町	田嶋邦貴	S36. 7.29	1	R11. 4.23	仁和圭昭
	六戸町	佐藤陽大	S48.11. 4	1	R10. 1.27	円子富浩
	横浜町	石橋勝大	S16. 9.27	2	R10.12.11	菊池義規
	東北町	長久保耕治	S47.11.14	2	R11. 4.23	沼尾啓吉
	おいらせ町	成田光寿	S41. 9. 6	1	R12. 3.25	齋藤直樹
	六ヶ所村	橋本隆春	S32. 4.30	1	R12. 2.14	種市誠
下北郡	大間町	野崎尚文	S30.11.17	2	R11. 1.18	
	東通村	畑中稔朗	S37. 7.14	2	R11. 4.12	
	風間浦村	富岡宏	S37. 4.27	3	R11. 2.18	
	佐井村	太田直樹	S50. 7.14	2	R12. 4.26	田名部二郎
三戸郡	三戸町	沼澤修二	S42. 4.25	1	R10.11.16	本宿貴一
	五戸町	若宮佳一	S41.12.30	2	R 9. 6.26	
	田子町	山本晴美	S39. 4.10	4	R10. 1.14	福田博実
	南部町	工藤祐直	S30. 5.22	8	R12. 2.11	久保田敏彦
	階上町	荒谷憲輝	S45. 4.24	2	R11.12.23	澤田充
	新郷村	佐藤和友	S43. 9.18	1	R11. 5.28	横田堅悦

地方創生の推進などを要請

北海道東北六県町村会協議会

北海道東北六県町村会協議会（会長＝棚野北海道町村会長）は、7月31日に東京都内で、令和9年度政府予算編成並びに施策に関する要請及び東日本大震災及び原発事故からの復興再生に関する特別要請活動を行った。

要請活動には各道県の会長等が出席し、本会からは濱館会長が出席した。当日は、原総務省総務事務次官、出口総務省自治財政局長、山本農林水産大臣政務官、小林自由民主党政務調査会長、山野復興庁事務次官に提案書を提出し、要望項目の実現を強く求めた。要請項目は次のとおり。

令和9年度政府予算編成並びに施策に関する要請

- 1 地方創生の推進について
- 2 町村自治の確立について
- 3 町村財政基盤の強化について
- 4 デジタル施策の推進について
- 5 防災・減災、国土強靱化対策について
- 6 地域医療の確保について
- 7 少子化社会対策の推進について
- 8 農業・農村対策の推進について
- 9 森林・林業対策の推進について
- 10 水産業対策の推進について
- 11 クマ被害対策の推進について
- 12 脱炭素社会の実現に向けた再生可能エネルギーの積極的な活用について
- 13 持続的な鉄道網の確立について（①東北②北海道）
- 14 新幹線鉄道の建設促進及び並行在来線への財政支援について
- 15 道路網の整備促進及び生活交通路線の維持・確保について
- 16 北方領土の早期返還について

令和8年度全国町村長大会前後の関係団体大会・会議等予定一覧表

月 日	時間	大会・会議等	会 場	主 催 者
11月4日（水）	13：00	安全・安心の道づくりを求める全国大会	東京国際フォーラム	全国道路利用者会議
				道路整備促進期成同盟会全国協議会
				全国高速道路建設協議会
				全国街路事業促進協議会
11月5日（木）	13：00	都市基盤整備事業推進大会	砂防会館 別館	全国街路事業促進協議会
				全国土地地区画整理事業推進協議会
				都市再開発促進協議会
				全国連続立体交差事業促進協議会
11月9日（月）	13：30	災害復旧促進全国大会	砂防会館 別館	全国防災協会
11月10日（火）	14：30	治水事業促進全国大会	砂防会館 別館	全国治水期成同盟会連合会
11月11日（水）	12：00	半島振興対策促進大会	J A 共済ビル カンファレンスホール	全国半島振興市町村協議会他
11月11日（水）	12：00	第70回町村議会議長全国大会	N H Kホール	全国町村議会議長会
11月12日（木）	11：00	全国治水砂防促進大会	砂防会館 別館	全国治水砂防協会
11月12日（木）	14：00	ダム・発電関係市町村全国協議会理事会	全国町村会館	ダム・発電関係市町村全国協議会
11月16日（月）	12：00	全国過疎地域連盟第62回総会	ニッショーホール	全国過疎地域連盟
11月17日（火）	10：00	第71回簡易水道整備促進全国大会	砂防会館 別館	全国簡易水道協議会
11月17日（火）	13：30	全国町村会 正副会長会	全国町村会館	全国町村会（総務部）
11月17日（火）	14：30	全国町村会 理事会（都道府県町村会長会議）	全国町村会館	全国町村会（総務部）
11月17日（火）	18：00	県選出国会議員との懇談会	ホテルニューオータニ	青森県町村会
11月18日（水）	午前	全国離島振興協議会正副会長・理事 要望活動	全国町村会館	全国離島振興協議会
11月18日（水）	12：00	全国町村長大会	N H Kホール	全国町村会（行政部）
11月18日（水）	15：00	全国防災・危機管理トップセミナー	砂防会館 別館	総務省消防庁国民保護・防災部防災課
11月18日（水）	15：00	北東北三県町村長中央研修会	ホテルニューオータニ	青森県町村会
11月18日（水）	16：45	北東北三県町村長中央交流会	ホテルニューオータニ	青森県町村会
11月19日（木）	10：00	水産業振興・漁村活性化推進大会、定期総会	全国町村会館	全国市町村水産業振興対策協議会
11月19日（木）	10：30	全国山村振興連盟通常総会	グランドアーク半蔵門	全国山村振興連盟
11月19日（木）	13：00	全国浄化槽推進市町村協議会通常総会	（公財）日本環境整備教育センター	全国浄化槽推進市町村協議会
11月19日（木）	14：00	全国観光地所在町村協議会総会	全国町村会館	全国観光地所在町村協議会
11月20日（金）	13：00	国保制度改善強化全国大会	砂防会館 別館	国民健康保険中央会



風間浦村

全体的にもおもしろい生きたまま水揚げされる風間浦鮭。切身でも食べられるほどの鮮度の良さが自慢です。

風間浦村役場

〒0175-35-2111 〒039-4502 下北郡風間浦村大字風間古字44-7

風間浦村役場 ☎0175-35-2111 ☎039-4502 下北郡風間浦村大字風間古字44-7

風間古村の挑戦！

本州最北端の村！
小さな村の挑戦！

風間浦村役場

〒0175-35-2111 〒039-4502 下北郡風間浦村大字風間古字44-7

風間古村の挑戦！

本州最北端の村！
小さな村の挑戦！

風間浦村役場

〒0175-35-2111 〒039-4502 下北郡風間浦村大字風間古字44-7

風間古村の挑戦！

本州最北端の村！
小さな村の挑戦！

[illegible]



六ヶ所村

住み続けたいと思える村
新たな住民も増える村

六ヶ所村

塩水 産香
11月

特産品販売所「六ヶ所」

毎月様々な商品を販売する六ヶ所イベントを開催しています。村の観光情報や地の産品にもなっています。

ほんてん山

六ヶ所村出身地にある「ほんてん山」の頂上からは、太平洋や奥州、エール第一公園緑地が広がる雄大な風景が一望でき、標高468m。

観光

ごろとんちにくと ころん山豚のつくど煮

令和7年畜産特産品コンクール農林水産部最優秀賞、独自製法で特約においしさを刻みたくとんち山豚山豚を特産として育った一品

六ヶ所村役所 ☎0175-72-2111 ☎039-3212 上北郡六ヶ所村大字尾花字附475



特産のナガイメ・ニンニク
ナガイメは柔らかくきめ粗やかなで、シャキシャキとした食感。ニンニクは大きく香りがいかに評価です。

雄大な大地
 小川原湖に彩られた
 小川原湖の風景



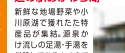
長久保 耕治
代表

道の駅あかわら瀬

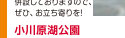
新鮮ななまほろ煮や小川原湖で採れた天然物産品が売店、温泉かけ流しの足湯・手湯を併設してありますのでぜひ、お立ち寄りませう！

小川原湖公園

湖水浴やジミミの採取が出来る他、パレールウナを模したカギビシハウスのスポーツセンターも備えつけられています。



自然



観光

東北町場 ☎0176-66-3111 ☎039-2492 上北郡東北町上北町四丁目32-484 ししまーく



六戸町

佐藤 剛大
町長

六戸町の魅力を
発信してまいります

**メイルタウン
フェスタ2026**

町の魅力をさらに高める
イベントであり、今年も
六戸祭ハープ舞1,000人
観衆をします。ぜひお参
りください。

道の駅くへの

新鮮な特産品を販売する産直では、長年つ
にんごの加工品も販売。おいらせハープボーク
(六戸町産)の主要野菜定食もお楽しみ。



笑顔



笑顔

おいらせハープボーク(六戸町産)

飼料に8種類のハープを配合。美味がなく、
肉が柔らかいにくいのが特徴。生産者のこ
だわりが感じられ、ぜひご賞味ください。

六戸町役場 ☎0176-55-3111 〒0309-2392 上北郡六戸町大字大落瀬字平台地60

[メイルタウン](#)



北沢のホウキ貝

越え川原田と太平洋を隔ち海境には、12月・3月またホウキ貝漁が行われ、最盛期の荒波で育まれた冬の美味は厚皮で甘み塩味は鉄骨。町代表する冬の風物詩。

おいなせ町

奥の奥川村の清流と
おのの平野に
育まれた町

成田 光寿

「成田光寿」の肖像画と、その著書『成田光寿の政治小説』の表紙が並ぶ。

**おいなせ阿光坊古蹟園
国史跡・阿光坊古蹟群**

現代の町育には、勾玉の首飾りや簪のピアスをした人が登場してきています。現代の人々を誇った国史跡阿光坊古蹟群の出土遺物を展示しています。

日本への自由の女神像

北沢の公園にそびえ立つ自由の女神像。ニューヨークと同様に伝播することから、越え川原田の自由の女神像です。ラッド・アポールの彼の愛の物語です。

おいなせ町役場 ☎078-56-2111 ☎039-2192 上北郡おいなせ町田上135-2

おいなせくん



馬肉鍋

馬肉鍋は郷土料理として市民に親しまれていてます。余儀ながら僕が愛して、食べても太りくくし〜♪〜♪とお店として人気があるんですよ。

五戸町

この人まねなんでしょうか？



若宮 健一
一軒長

五戸町役場 ☎078-62-2111 ☎039-1513 三戸郷五戸町古館2-1-1

銘酒「菊町」復活

五戸町の銘酒「菊町」が約2年ぶりに復活しました。以前と変わらぬ味を追求し、精米率を使用した純米吟醸。この「菊町」が五戸限定で販売されています。



五戸町農産物直売所焼肴地産施設「パ・ボール」オープン!

8月6日上村地区に「パ・ボール」がオープンしました。焼肴所のほか、2つの養鶏舎、キヌススペースなどがあります。ぜひ、立ち寄りください。





「チェリウス」デカ盛りDAY
毎月12日は、チェリウスレストラン桜葉にて
ボリューム3倍 専売15席のデカ盛りメニュー
6品の提供をいたします。是非お越しください。

南部町

笑顔がふれるまち
通商に暮らし
に暮らす

光栄

工藤 祐直
代表

光栄ライトアップ

町内の法光寺を食
町に10月末の25日
18時から20時ラ
イプを開催いたします。
紅葉に映える秋夜
の法光寺に是非お
越しください。

あおもり須自慢

令和8年10月18日、南部町に青森県内と若手
東北4府県庁が集結し「あおもり 夢未来村創
造の場」の開設の祝賀もなされました。

光栄

南部町役場 ☎0178-76-2111 ☎036-0592 三戸郡南部町大字平広場28-1

あへる



三戸町

食

三戸町

沼沢 修二
町長

三戸せんべい

南部せんべいの中でもサクッと軽い口当たりが特徴。せんべいには貝殻を巻いて食べ歩きする「せんべいさんぽ」が好評開催中!

三戸町役場 ☎0179-20-1111 ☎039-0198 三戸郡三戸町大字在小路町43

国史跡三戸城跡城山公園

令和4年に国史跡に指定された三戸城跡の中心を束へする城山公園として整備されています。お庭の手入れがされ、新緑の緑の名所としても有名です。

話題

11ひきのねこワールド

石巻をはじめ、各商店の店員猫たち、町のいたるところで、可愛らしい11ひきのねこたちに出会うことができます。猫本の世界観を体験してみませんか?

観光

階上町

魅力ある階上町。
海・山・里がそろった
魅力ある階上町。

魚

アブラメ漬け丼

階上町が誇る階上町魚「上あぶらめ」を使った漬け丼。引越来たつと身と上品な旨みが楽しめる。町の伝統。

階上 早生 えんぶり祭り

国の重要無形民俗文化財に指定されている町
の3地区のえんぶり踊りが
一か所で行われる。階上
名物の階上早生そばを
そばを味わいながら
お祭り(寺町会・農産物
えんぶり場)

階上 早生 新そばまつり

毎年10月に行われる新そばまつりは最盛期
の階上早生が味わえます。両月階上の家々
そば引店協定会では最盛期を10月17日(土)

観光

階上町役場 ☎078-822111 ☎033-1201 戸部階上町大学道仏字天当平1-87

あまのこらん

青森県には、それぞれに個性あふれる30の町や村があります。
四季折々の美しい風景、地域に受け継がれてきた歴史や文化、
豊かな自然が育む食など、町や村には訪れるたびに新たな発見があります。
ぜひ30町村へ足をお運びいただき、
その土地ならではの風景や食、文化、人々の温かさなど、
現地では味わえない魅力に触れてみてください。
Discover My Aomori わたしたちの30町村にいらっしゃいませ！





大鰐 大鰐町

大鰐 大鰐町・山・大鰐町

高野山町で栽培されるため、その栽培地によって食味がひとへず鮮やかで、肉質もしっかりと甘み・うまみ・弾力性に富んでいます。



山田 和彦
代表

高野山町に広がるりんご園

大鰐町は温暖な気候・だけではなく、りんごの栽培にももってこい。

高野山町で栽培されたりんごは、大鰐町に広がる光景に、四季の美しさが感じられます。

大鰐 大鰐町・山・大鰐町

来りの季節である9月〜11月には、観光りんご園がOPEN! もきたてのJULIYはりんごに注目! お気に入りのりんごを見つけてみてはいかがでしょうか?

大鰐 大鰐町・山・大鰐町

大鰐 大鰐町

〒712-44-1111 〒7038-0211 南庄街道大鰐町大字大字羽黒崎5-3

もやっぴー



問い合わせ先 平内町教育委員会 生涯学習課
TEL 017-755-2565

平内町の浅所海岸を基点とする夏泊半島一帯は、ハクチョウの渡来地として全国で唯一「特別天然記念物」に指定されています。町では「ハクチョウのまちフォトコンテスト」を開催し、10月から1月まで募集しています。美しい景観やハクチョウの表情を収めた1枚を応募してみませんか。詳細は公式Instagram「白鳥と平内町」をご覧ください。

特別天然記念物「小湊のハクチョウおよびその渡来

いまが旬!
ひらないまち
平内町
東津軽郡



問い合わせ先 鯉ヶ沢町役場 企画観光課
TEL 0173-82-0922

世界自然遺産「白神山地」の恵みを受け、海・山・川の豊かな自然が広がる鯉ヶ沢町。9月1日から11月22日まで対象商品の購入・食事を対象としたスタンプラリーを開催中です! ヒラメのヅケ丼、熟成豚、ジャージー乳製品、深谷の栗を使った逸品を巡りスタンプを5個集めて豪華景品を当てよう。

11月29日には公開抽選会やヒラメのヅケ丼の限定販売、ステージライブも実施! ぜひお越しください。

食欲の秋は鯉ヶ沢町へ! 『あしがさわグルメラリー2026』

いまが旬!
あしがさわまち
鯉ヶ沢町
西津軽郡



問い合わせ先 藤崎町役場 経営戦略課 戦略推進係
TEL 0172-88-8236

魚が栄養をつくり、野菜が水をきれいにする循環型農業「アクアポニックス」を体験できる農園・カフェ・公園が一体となった新エリアが藤崎町にオープン! 収穫体験から採れたて野菜のピザ試食まで楽しめる農園ツアー(有料・事前予約制)も開催中。自然の循環を学びながら、おいしい料理とくつろぎのひとときをお楽しみください。

ふじさきアクアポニックス
スタウン オープン!

いまが旬!
ふじさきまち
藤崎町
南津軽郡



問い合わせ先 まるごと大鰐実行委員会
(大鰐町役場 企画観光課内)
TEL 0172-55-6561

大鰐ならではのものを集めた「まるごと大鰐秋の感謝祭」が開催されます! 大鰐温泉もやし・大鰐高原りんご・大鰐産野菜の販売のほか、おいしいグルメ、体験ブースや屋内でのステージイベントなど楽しい企画が盛りだくさんです! みなさまのお越しをお待ちしております!

- 日時 11月29日(日) 10時~15時
- 場所 大鰐町地域交流センター「鰐come」

大鰐町の秋の味覚をまるごと楽しむイベント! まるごと大鰐秋の感謝祭

いまが旬!
おおわにまち
大鰐町
南津軽郡

いま旬!

七戸町

しちのへまち

上北郡

しちのへ生涯学習フェスタ2026
みんなであつくる、まなびのひろば

これまでの町民文化祭をブラッシュアップし、子どもから大人まで楽しみながら「学び」に出会えるイベント「生涯学習フェスタ」を10月31日(土)、11月1日(日)に初開催します!

講演会や文化芸能ステージ発表、作品展示、体験コーナーなど、見て、聞いて、体験して楽しめる企画が盛りだくさん。ご家族やお友達とぜひお越しください!



問い合わせ先 七戸町役場 生涯学習課
TEL 0176-62-9702

いま旬!

大間町

おおままち

下北郡

大間といえば大間マグロ

みなさんご存じの通り大間といえば「大間マグロ」が有名です。

名前だけ知っていて食べたことがない方などは大間の食事処などで食べることができるので、ぜひ大間町に来てみてはいかがでしょうか。

※時期によっては品切れになることもあるそうなので、事前にご予約してください。



問い合わせ先 大間町役場 企画経営課
TEL 0175-37-2504 (直通)

いま旬!

風間浦村

かざまつらむら

下北郡

風間浦鮫鯨フェア

風間浦村では、寒さが厳しくなる初冬から初春にかけて津軽海峡産の新鮮な「活鮫鯨」が水揚げされます。

下風呂温泉郷の鮫鯨料理提供店では、「風間浦鮫鯨フェア」を毎年12月から3月頃の期間で開催しています。

産地ならではの鮮度を活かした鮫鯨づくしの料理を提供しておりますので、ぜひご堪能ください。



問い合わせ先 下風呂温泉旅館組合
(風間浦村商工会内)
TEL 0175-35-2010

いま旬!

五戸町

このへまち

三戸郡

五戸町の魅力が集まる
産直施設『バ・オール』

今年8月にオープンした産直施設『バ・オール』は、五戸町の新たな魅力発信拠点です。地元で取れた新鮮な野菜や果物をはじめ、特産品や加工品など、五戸町ならではの味覚が並びます。

五戸町に訪れた際には、旬の味覚やお土産探しを楽しみながら、地域の魅力をぜひご体感ください!



問い合わせ先 五戸町農産物直売等拠点施設 バ・オール
TEL 0178-32-0935

春休みの受入れに向けて

保健師

インターンシップ

受入町村を募集

本会では、町村における保健師の採用・人材確保を支援するため「青森県内町村保健師インターンシップ促進支援事業」を実施しています。

■事業の概要

①費用の助成

保健師を志望する学生が安心して町村でのインターンシップに参加できるよう、交通費や宿泊費を助成します。

②「受入リスト」による周知

県内町村の受入状況をまとめたリーフレットを作成し、県内の看護系大学と情報共有のうえ、学生へ周知を行っています。（今年度は17町村を掲載中）

春休みには長期連休を利用してインターンシップに参加する学生も見込まれます。

各町村におかれましては受入を改めてご検討いただき、受入リストへの掲載をご希望の場合は青森県町村会業務共済課までご連絡ください。

令和8年度

保健師インターンシップ参加者募集

青森県内町村で保健師の仕事を体験しよう！

県内町村へ保健師として就職することを検討している学生がインターンシップ参加のために要した交通費及び宿泊費を支援します。

こんな方におすすめ

- ・地域の仕事に興味がある
- ・職業体験してみたい
- ・保健師の仕事が気になる



対象

県内町村へ保健師として就職することを検討する、
県内看護系大学の看護学科に在籍する学生

対象経費

県内町村で実施される保健師インターンシップ
参加のために要した交通費及び宿泊費

金額

本会旅費規程に基づく



【問い合わせ先】

青森県町村会
業務共済課

TEL:017-723-1331

E-mail:ack-2@aomori-chousonkai.jp





任意共済

「任意共済」は任意生命保険・
任意医療保険・任意収入補償保険をまとめた名称です

【任意生命保険・任意医療保険・任意収入補償保険】

◆「死亡や高度障がい」「入院や手術」「病気・ケガによる長期にわたる収入減少」に備える、全国町村会の団体割引が適用された保険です

◆ライフプランに合わせて、3つの保険から必要なものを選んで加入することができます

毎年の収支を計算し、剰余が生じたときは配当金として還付！
加入時の医師の診査不要、健康状態の告知のみで加入可能！

任意生命保険

職員・配偶者・子どもが死亡または高度障がいになった場合に
保険金が支払われます。

保険金の種類

支払事由	支払われる保険金
疾病による死亡（高度障がい）の場合	死亡保険金（高度障がい保険金）
不慮の事故による死亡（高度障がい）の場合	死亡保険金＋災害保険金 （高度障がい保険金＋災害高度障がい保険金）

保険金額は
3,000万円・2,500万円・2,000万円・1,500万円・1,000万円・800万円・600万円・400万円・200万円
から選択できます。※配偶者は、1,000万円以下から、子どもは400万円以下から選択

月払掛金の例

保険金額		3,000万円	2,000万円	1,000万円	600万円	200万円
男性	15～35歳	3,600円	2,400円	1,200円	720円	240円
	36～40歳	4,290円	2,860円	1,430円	858円	286円
	41～45歳	5,370円	3,580円	1,790円	1,074円	358円
	46～50歳	7,170円	4,780円	2,390円	1,434円	478円
女性	15～35歳	2,430円	1,620円	810円	486円	162円
	36～40歳	3,450円	2,300円	1,150円	690円	230円
	41～45歳	4,050円	2,700円	1,350円	810円	270円
	46～50歳	5,370円	3,580円	1,790円	1,074円	358円

任意医療保険

職員・配偶者・子どもが入院・手術した場合、日数や内容に応じ
給付金が支払われます。

主な給付金の種類

給付の名称	支払事由	支払金額
入院給付金	ケガや病気により1泊2日以上継続して入院したとき	入院給付金日額×入院日数
入院療養給付金	入院給付金が支払われる入院をしたとき	入院給付金日額×5
手術給付金(20倍)	1泊2日以上継続した入院中に、公的医療保険制度の対象となる手術または先進医療に該当する手術等を受けたとき	入院給付金日額×20
手術給付金(5倍)	外来または日帰り入院中に、公的医療保険制度の対象となる手術または先進医療に該当する手術等を受けたとき	入院給付金日額×5

入院給付金日額は
12,000円・10,000円・8,000円・5,000円・3,000円から選択できます。
※職員は5,000円以上から、配偶者は10,000円以下から、子どもは5,000円以下から選択

月払掛金の例

入院給付金日額	12,000円	10,000円	5,000円	3,000円
20～24歳	2,292円	1,910円	955円	573円
25～29歳	2,832円	2,360円	1,180円	708円
30～34歳	3,084円	2,570円	1,285円	771円
35～39歳	3,204円	2,670円	1,335円	801円
40～44歳	3,420円	2,850円	1,425円	855円
45～49歳	4,032円	3,360円	1,680円	1,008円

「私見たいねん」が生んだ

奇跡の再会

日本のステンドグラス界には、ヨーロッパで学んだ宇野

澤辰雄と、日本画から渡米を経てティファニー様式を修めた小川三知という同い年の2人のパイオニアがいた。生前直接の交流はなかったが、宇野澤の死後に帰国した三知の



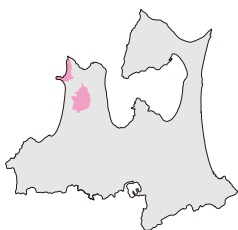
宮越家離れ・庭園

工房には宇野澤の写真が掲げられていたという。



十三湯風景

三知の研究者である田辺千代氏が最後に発見した作品が、青森県の宮越家離れ「詩夢庵」にある50代半ばの力作3点（「四季花木」「十三湯風景」「柳に翡翠・菖蒲」）である。これらは宮越家九代当主の正治が妻の誕生日に贈った離れに据えられたもので、大正9年の制作から約100年を経た今も美しさを保っている。また、離れには正治が関東大震災の前年にオークションで購入した18面の襖絵も備わっていた。



中泊町長

はまだて
濱館

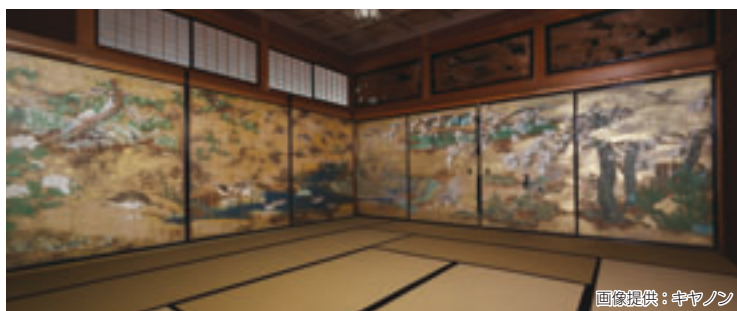
とよみつ
豊光



中泊町は、十三湖南岸から内陸に広がる中里地域と日本海沿岸の小泊地域が「飛び地」で合併した町です。地域は2つに分かれていますが、飛び地だからこそこの「大地の恵」と「海の幸」、そして変化に富んだ美しい景色に会える町です。四季折々に美しい中泊町を訪れて、見て・きいて・食べて・・・五感でお楽しみください。

私がこの宮越家の宝物と出会ったきっかけは、あるテレビ番組を見た知人の「私、見たいねん」という一言だった。知人や前青森県知事夫人らと5人で訪問した際、研究者でもある知事夫人は上客間の「花鳥図」の技法に魅了され、襖絵の前から離れなかった。これを機に私は独学を開始し、田辺氏の著書や大和絵・狩野派に関する専門書を読み込んで関連知識を積み上げた。無知だった私が日本画の世界を覗き見るきっかけとなったあの一言から時を経て、2年前、宮越家の襖絵に関する驚くべき事実が判明する。その襖絵は、昭和初期の日本画研究者の間で行方不明とされていたものであり、現在は大英博物館に所蔵されている「秋冬花鳥図」と対をなす「春景」の花鳥図だったのだ。1987年に大英博物館の作品が半世紀ぶりに里帰りした際、実物を見ていた研究者の山下善也氏のもとへ田辺氏経由で宮越家の写真が届けられたことで、この歴史的発見につながった。

さらに、大英博物館へ渡つ



画像提供：キヤノン

秋冬花鳥図高精細複製品（左）と春景花鳥図（右）

た経緯を追うNHK記者の取材により、もう一つの奇妙な縁が明らかになる。「私見たいねん」と発言した知人は、昭和8年に「日本花鳥名画集」で大英博物館側の襖絵を紹介した京都大学研究者の子息のもとへ嫁いだ人物だったのである。

偶然の一言から始まった探求は、歴史の中に埋もれていた名品同士を時空を超えて結びつけ、奇跡的な再会へと導く不思議な縁となった。